

植物多様性センターの「イヌビワの小さな生態系」

果樹林エリアのイヌビワに赤紫色の果実のようなものがあります。じつはこれ、果実ではなく花囊という花なのです。花はこの袋の中で咲きます。イヌビワはイヌビワコバチというハチの仲間と深い共生関係をもっています。イヌビワはコバチがいなければ受粉することができず、コバチはイヌビワの雄花囊のみにある虫えい花を利用することでしか繁殖することができません。それに加えて、イヌビワコバチに寄生することで成長する、イヌビワオナガコバチも存在します。



花囊の口があくことでコバチが出入りできるようになる。



雌のイヌビワオナガコバチ。長い産卵管鞘を持つ。



恐らくイヌビワコバチの雄
イヌビワオナガコバチと比べ頭部が小さい

雄のコバチ。体長が1~2mmと非常に小さい。羽根を持たない。



雄花囊の内部: 矢印先端の丸い部分が虫えい花